

第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画における施策体系(案)

参考資料 4

No	基本	施策項目	取組項目(案)		推進指標(案)	
			No	項目名		
1	I 時代のニーズに対応した県産食品の安定供給(豊かな食)	1 出す食・組の農業・農村との協働を生み出す	①	農村地域と都市部との交流拡大の推進	「グリーンツーリズム, 教育旅行, 交流拡大ネットワーク構築等による県民理解醸成」 ○農村地域と都市部との交流拡大の推進 ・都市農村交流による農村地域のにぎわいをつくる。 ○多面的機能への県民理解の向上 ・県民理解向上のための農業農村関連情報の発信を行う。	・主な都市農山漁村交流拠点の利用人口 ・プラットフォーム参画団体数 ・地域や学校教育と連携した農村環境保全等の協働活動に参加した人数
			②	県産食品の魅力発信による農業・農村を支える消費行動の促進	「地産地消, ペアリング, 観光業との連携等の食産業を支える消費行動の推進」 ・食産業の持続的な成長に向け地産地消を推進するとともに, 宮城県を訪れる国内外の観光客への県産品の消費拡大を図る。	
3	2 需要の変化に対応する県産食品の販売力強化	3 必要の変化に対応する県産食品の販売力強化	①	バリューチェーン構築に向けた食産業への支援	「産地と食品製造者, 流通業者等の連携強化によりバリューチェーン構築」 ・県内食産業のバリューチェーン構築に向け, 強みの異なる企業と連携しながら, より付加価値が高い商品を生産し流通できるよう, 「商品開発」「人材育成」「販売・商談」「物流」の各段階で生じる課題に対し総合的に支援する。	・食品製造業の製造品出荷額等
②			県産農林水産物の付加価値を高めるブランド化の推進	「「食材王国みやぎ」が誇る様々な食材の認知度と評価の向上による消費拡大」 ○県産農林水産物の付加価値を高めるブランド化の推進 ・県産農林水産物の消費拡大を図るため, 県産品のブランド化を推進するとともに, 地域イメージである「食材王国みやぎ」を普及する。 ○園芸品目の販路拡大とブランド力強化 ・園芸品目の販路拡大を図るとともに, ブランド力を強化する。 ○みやぎ米の市場評価向上とブランド力強化 ・みやぎ米の市場評価向上を図るとともに, ブランド力を強化する。 ○県産肉用牛の消費拡大とブランド力強化 ・仙台牛を中心とする県産肉用牛の消費拡大を図るとともに, 仙台牛のブランド力を強化する。	・食品製造業の製造品出荷額等	
③			多様な主体と連携した国内外への販路開拓の展開	「販売プロモーションの展開と, 実需者やバイヤーとの連携による国内外の新たな販路開拓の推進」 ・国内外において県産品の販路を開拓するため, 多様な主体と連携しながら, 広報・PRによる認知度向上を図るとともに, 引き続き県産食材の安全性について積極的に情報発信しながら, 東京アンテナショップやエレクトリック・コマースを活用したマーケティングを展開する。	・食品製造業の製造品出荷額等	
6	3 県民への安全・安心な食料の安定供給	3 県民への安全・安心な食料の安定供給	①	生産から製造の各段階における適正管理による食品トレーサビリティの取組推進	「GAP, HACCP, 農業や家畜医薬品の適正使用の推進」 ○農産物の農業生産工程管理の実践 ・県内のほぼ全ての農業者がGAPの考えに基づく取組みを実践する。 ○畜産物等の生産衛生管理の推進 ・畜産物等の生産現場等において生産衛生管理を推進	・GAP指導員総数(現指導員+資格未更新者)
②			科学的知見に基づく県産農林水産物の安全性評価	「放射性物質やカドミウムの検査実施」 ・県産農畜産物の安全安心を確保するため, 放射性物質検査やカドミウム検査を行う。		
③			様々なリスクを見据えた食料供給体制の構築	「家畜伝染病や気候変動, 新型コロナウィルス等に伴う輸入停止等のリスクへの備えと対応」 ・家畜伝染病や気候変動, 新型コロナ等に伴う輸入停止等のリスクに対応するため, 食料供給体制を構築する。		
9	II 次代の人材育成と革新技术の活用による戦略的な農業の展開(儲かる農業)	4 みやぎの農業を支える多様な人材の育成	①	意欲ある農業経営者の確保・育成と円滑な経営継承	「家族経営者, 認定農業者, 農業法人, 新規就農者, 女性農業者, アグリビジネス経営体等の確保・育成を支援」 ○家族経営体を含む担い手の確保・育成 ・家族経営を含む多様な担い手(認定農業者, 家族経営体等)を確保・育成することにより地域農業の維持・発展を図る。 ○地域農業を牽引する先進的経営体の育成 ・農業経営の法人化を推進する。 ・農業法人の経営の安定化・高度化を図る。 ○新規就農者の確保・育成の推進 ・新規就農者を安定的に確保し, 農業を持続的に発展させる。 ○女性農業者の活躍推進 ・女性農業者の活躍を支援し, 経営体の安定化及び地域農業の持続的発展。 ○企業感覚を備えたアグリビジネス経営体等の経営発展支援 ・意欲ある農業経営者及び異業種からの参入者の人材育成を図り, 経営展開を支援することによって, 若者があこがれる農業の牽引役となるアグリビジネス経営体を育成する。	・認定農業者数 ・農業法人数 ・園芸生産法人数 ・新規就農者数 ・家族経営協定数 ・アグリビジネス経営体数及び販売金額
②			企業等の農業参入推進	「企業参入の受入体制整備と園芸栽培に適した気候や立地条件を活かした企業誘致を推進」 ○異業種の企業や県外農業法人が県内で農業経営することで新たな担い手を育成する。 ○大規模園芸拠点整備のため, 積極的な企業誘致を図る。	・異業種企業又は県外農業法人による県内への農業参入数(うち園芸関係農業参入数)	
③			多様な働き手が活躍する農業生産支援体制の構築	「従業員教育, 就労環境整備, GAP, 技能実習生, 農福連携, 就農前研修, 就労マッチング支援等により働き手の確保と育成を支援」 ・農福連携や外国人材の受入, 高齢者等の多様な働き手の活躍により農業現場の人手不足を解決する。	・多様な働き手のうち, 農福連携に取り組む農業法人数・福祉事業所数	

No	基本	施策項目	取組項目(案)		推進指標(案)		
			No	項目名		目的及び内容	
12	II 次代の人材育成と革新技術の活用による戦略的な農業の展開(儲かる農業)	5	先端技術等を活用した農業生産の効率化と高度化	①	生産性向上のためのスマート農業技術の実装	「ロボット、AI、IoT等の先端技術を活用したスマート農業の現場実装を加速化し、スマート農業先進県を目指す」 ○スマート農業技術の普及推進と導入拡大 ・スマート農業技術の普及により労働力不足等が改善され生産性が向上する。 ○スマート農業導入対応基盤整備の推進 ・スマート農業の導入に対応した農地整備事業地区計画の策定を進める。 ・無人基地局等のインフラ整備をすすめる。 ○畜産技術の開発・普及の促進 ・畜産における労働力不足等、様々な課題を技術の開発で解決するとともに、その技術の普及促進を図る。	・80ha以上の大規模土地利用型農業法人のスマート農業技術導入者数
13				②	気候変動に対応した農業技術の開発と現地普及	「高温等の気候変動に適応するための技術開発と現地普及」 ・気候変動等の影響への対応策・適応策を、新たな技術開発により解決する。	・普及に移す技術の開発件数
14	6	基礎整備と集積・集約化による農地利用の高度化	①	農業の成長産業化に向けた農業基盤整備	「スマート農業や高収益作物導入に対応した次世代の農業基盤整備を推進」 ○農地の更なる大区画化・汎用化の推進 ・再整備を含めた大区画化の更なる向上 ・高収益作物導入に対応した汎用化農地の整備 ○農地整備計画地区における高収益作物導入の推進 ・TPP要件のうち高収益作物導入要件を達成する農地整備事業新規地区の採択	・水田大区画整備面積目標 R12 50,000(ha)(整備率 48%) ・高収益作物導入面積 R12 10,000(ha) ・TPP高収益要件を満足する新規採択地区の地区数	
15				②	中山間地域等における農業生産の効率化と優良農地の確保	「中山間地域の不利な生産条件を補正し、地域特性を活かした作物導入を推進」 ○中山間地域等における農業生産の効率化と高収益化の推進 ・簡易整備等を活用し農地等の基盤整備を推進する。 ・中山間地域の農業を支える基盤条件整備を行う。 ○優良農地の確保及び遊休農地の縮小 ・耕地利用率を90%とする。	・水田整備状況のうち大区画整備済水田整備面積(50a区画以上) ・農業生産基盤の整備面積 ・耕地利用率
16				③	農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積・集約化の推進	「実質化された人・農地プランに基づく農地の集積と集約化を推進」 ・担い手が利用する農用地の面積の割合を90%とする。	・担い手への農地集積率
17	7	先進的大規模拠点を中心とした園芸産地の確立	①	先進的施設園芸の強化による園芸生産力の向上	「高度な環境制御技術の普及拡大による先進的施設園芸産地の確立を推進」 ・先進的施設園芸の取組強化や既存の先進的施設園芸経営体の経営拡充により、本県園芸推進の核づくりを図る。 ・農地整備事業の新規地区において園芸拠点となる地区を創設していく	・先進的園芸経営体数(施設園芸) ・園芸施設設置面積 ・高度環境制御機器等設置面積 ・(園芸拠点整備計画を盛り込んだ新規採択地区数)	
18				②	大規模露地園芸の振興による園芸生産力の向上	「農地整備と連動した大規模露地園芸産地の確立を推進」 ・スマート農業技術の導入等も図りながら、安定生産に向けた大規模露地園芸の拡大を目指す。 ・農地整備事業の新規地区において園芸拠点となる地区を創設していく	・先進的園芸経営体数(露地園芸) ・水田農業高収益化推進計画の目標値(作付面積拡大・収量向上・販売額向上等)の達成割合 ・加工・業務用野菜の取組面積 ・(園芸拠点整備計画を盛り込んだ新規採択地区数)
19				③	出荷調整体制の再構築による地域戦略品目の振興	「地域戦略品目の生産と出荷調整体制の再構築地区により産地化を推進」 ・実需ニーズに応じた特色ある地域戦略品目の推進や既存産地の維持・拡充のため、生産支援体制や出荷調整体制を再構築する。	・新規共同調整・選別取組産地数(又は機械・施設リース体制構築産地数)
20	8	た作物田生フルの活用による需要に応じた	①	需要に応じた米生産と高収益作物の導入	「主食用米以外への作物転換や、実需と結びついた生産販売による所得向上」 ・実需者の需要に応じた水田活用米穀(加工用米、飼料用米、備蓄米、新市場開拓用米、米粉用米、WCS用米)の生産に取り組み、水田をフル活用して農家所得の確保を図る。	・水田における園芸作物の導入面積目標	
21				②	高品質かつ多収穫・低コストな稲・麦・大豆づくり推進	「水田農業の技術力向上により高品質、多収穫、低コスト化を図り、所得向上」 ・品質・収量の高位平準化により、需要に応じた稲・麦・大豆の安定供給体制を確立する。	・水稲直播栽培面積6,100ha、 ・水稲晩期栽培の取組割合15%
22	9	争力生産強化基盤の拡大による畜産物の競	①	優良種畜の確保と活用による畜産物の品質向上と安定供給	「優良な肉用牛の生産拡大の支援」 ・県内畜産農家へ優良な種畜(精液等含む)を供給するとともにその畜産物の安定的な生産を図る。	・県有種雄牛産子の子牛市場上場頭数割合 ・大規模肉用牛農家戸数	
23				②	畜産の生産性向上のための生産基盤の強化	「機械施設整備、家畜導入、自給飼料確保の支援」 ○自給飼料生産基盤の有効活用と生産性の向上 ・自給飼料生産基盤を有効に活用することにより、畜産物の生産性向上を図る ○畜産・酪農の収益力強化対策 ・畜産クラスター協議会による地域の畜産・酪農の収益力強化を図る	

No	基本	施策項目	取組項目(案)		推進指標(案)	
			No	項目名		目的及び内容
24	Ⅲ ひと・もの・ちえを総動員した持続可能な農村の構築(活力ある農村)	育成・関係人口の創出と農村活性化人材の	①	交流拡大による関係人口の創出	「地域との関わりを持つ関係人口の創出, 応援人材マッチング支援」 ・農村地域の担い手不足の課題を関係人口により補う。	・応援人材マッチングサイトによるマッチング成立数 ・プラットフォーム参画団体数
25			②	農村活性化人材の確保・育成の推進	「地域づくりをコーディネートする農村活性化人材の育成」 ・農村活性化人材の確保・育成を図る。	・本事業の活動における地域住民の参加者数及び研修参加者数
26			③	地域コミュニティ組織の強化	「自ら課題解決に向けて行動する地域コミュニティ組織への支援」 ・協議機能と実行機能を併せ持つ地域コミュニティ組織(地域運営組織等)の設置・運営を支援することにより, 地域住民の当事者意識を醸成し, 地域づくりへの積極的な関与を促すとともに, 地域資源ビジネス等で稼得した利益の適正な運用(地域への投資等)を図る。	・地域課題の解決を目的として設置・設立された協議会や法人等の数
27	11	地域資源を活用した多様ななりわいの創出	①	地域資源の掘り起こしと磨き上げによる高付加価値化	「地域の特色を活かした6次産業かによる“なりわい創出”を支援」 ○地域資源の高付加価値化による多様ななりわいの創出 ・地域資源を活用した特色ある商品開発や商品ブラッシュアップを行い, 売上げ(所得)確保を目指す。 ○地域の特色を活かした経営展開による地域活性化の推進 ・地域の所得向上などを深化させる多様な取組を推進し, 農業振興の活性化を図る。 ・農業者の新たなビジネス創出によって地域活性化が図られる。	・国の「6次産業化総合調査」の加工年間総販売金額, または県調への「農産物直売所等の売上金額」 ・所得向上に資する地域活動の取組回数
28			②	地域運営組織の活動支援によるなりわいの創出と継承	「地域商社事業の考え方を導入した地域運営組織によるビジネス創出」 ○地消地産やCSA等の取組の促進による「なりわい」の継承・拡充に向けた支援 ・既存のなりわいの第三者への継承や拡充等により, 必要な人材の早期確保を図るとともに, 事業の休廃止による生活機能の衰退および地域活力の減退を防止する。 ○移住者等の新規起業による「なりわい」の創出に向けた支援 ・関係人口や移住者等の「地域の担い手」を呼び込むとともに, ヨソモノ視点の導入による地域資源の再価値化と再活用化を図る。	・継業した事業数, 関係人口又は移住者の数 ・地域資源ビジネス(なりわい)の創出数
29			③	地域経済循環の構築に向けた支援	「地域内でのお金の滞留・循環による地域全体の所得向上の取組支援」 ・稼いだおカネの域外流出を最小限に食い止め, 地域内で循環させることによって雇用と所得を増やし, 「なりわい」の拡充や地域課題の解決に向けた取組等に再投資できる仕組みをつくる。	・地域経済循環率, 地域の生産額・付加価値額 等
30	12	環境と調和した取組可能な農業・農村づくり	①	環境に配慮した生産の取組支援と理解促進	「環境保全型農業, 再生エネルギー活用, 耕畜連携等資源循環」 ○環境保全型農業に対する理解啓発と定着促進 ・環境保全型農業を消費者と生産者と双方向の理解のもと, 環境保全型農業を推進する。 ○再生可能エネルギー活用の推進 ・再生可能エネルギーの導入による農業水利施設の維持管理費を軽減する。 ○耕畜連携等資源循環機能の維持増進 ・耕畜連携による地域の家畜排せつ物のリサイクル推進や未利用資源の等資源循環機能の維持増進を図る。	・農業水利施設を活用した小水力発電施設の箇所数
31			②	農村の地域資源保全活動の推進による多面的機能の維持・発揮	「多面的機能の維持・発揮のため, 地域資源保全活動や施設等保全管理を推進」 ○農村の地域資源の保全活動の推進 ・農村地域の多面的機能の維持・発揮を図る。 ○農地と水, 農村景観の保全管理 ・土地改良施設の適切な維持管理を行う。	・農村の地域資源の保全活動を行った面積 ・農業水利施設の維持管理を担う土地改良区数
32			③	野生鳥獣による農作物被害対策の強化とジビエ利活用の拡大	「鳥獣被害防止と併せて捕獲鳥獣を地域資源に変えていくための取組支援」 ・野生鳥獣被害対策による農作物被害を低減する。	・野生鳥獣による農作物被害額
33	13	農業・農村の強靱化による地域防災力の強化	①	農村の防災機能の充実	「防災重点ため池等の整備補修」 ・地震・豪雨対策が必要な防災重点ため池を整備する。 ・耐用年数を経過した排水機場等を整備補修する。 ・海岸保全施設, 地すべり防止施設を適正管理する。 ・災害発生時の対応力を強化する。	・地震・豪雨対策を実施した防災重点ため池数 ・整備補修を実施した湛水防除事業で整備した排水機場数
34			②	水田の有する貯留機能の効率的な発揮	「居住地域の洪水抑制」 ・地域の洪水流出抑制を田んぼダム活用により達成する。	・田んぼダムを導入した受益面積
35			③	農業水利施設等のストックマネジメントの推進	「農業水利施設の長寿命化」 ・農業用施設の長寿命化対策による農業生産活動の継続による多面的機能を確保する。 ・基幹的な農業水利施設について, 定期的な施設の機能診断による劣化状態の把握と, その結果に基づき計画的な機能保全対策を講じて施設の長寿命化を図る。	・機能保全対策を実施した農道橋の施設数 ・機能保全対策を必要とする基幹的な農業水利施設について, 保全対策を実施した施設数
36			④	農村地域の生活環境の維持	「農村の集落排水機能の維持」 ・農村の生活環境の維持	・機能更新を行った施設数